



石川県リハビリテーションセンターニュース

目次	「石川県難病相談・支援センターが リハビリテーションセンター内にオープンしました」……	1
	地域活動支援 ……………	2
	平成18年度 研修会のご案内 ……………	3
	バリアフリー推進工房の活動 ……………	5
	虹の窓から ……………	6

「石川県難病相談・支援センターがリハビリテーションセンター内にオープンしました」

平成18年4月30日、石川県リハビリテーションセンター大研修室において、石川県難病相談・支援センター開所式を執り行いました。開所式には患者さんの団体、家族、医療関係者ら約70人が出席しました。

難病は、原因が不明で治療方法が確立されておらず、後遺症を残すおそれが少なくない病気で経過が慢性にわたることから、身体的問題だけでなく、精神的、社会的、経済的にも大きな負担を伴うことが多い病気と言われています。

このような難病の方々に対する支援策として、これまで地域の保健福祉センターにおいて、相談や訪問指導を行ってまいりましたが、さらにその対策を強化し、難病患者や家族が抱えている様々な悩みに対応した、よりきめ細かな相談支援を行うための拠点として「難病相談・支援センター」を設置しました。

〈具体的な活動内容〉

1. 難病相談

病気や療養上の悩みなどに関する相談、患者会、医療機関、福祉制度などの情報提供を行います。内容によっては専門医が相談に応じたり、入院中の病院に出向くことも可能です。

- ・相談時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時から正午
- ・相談方法 面接、電話、FAX、電子メール
- ・スタッフ 難病相談員2名（保健師）

神経内科、整形外科、免疫内科、消化器内科各1名（嘱託医師）

（電話番号）076-266-2738 （FAX）076-266-2864 （メール）nanbyou@pref.ishikawa.jp

（ホームページ）<http://www.pref.ishikawa.jp/nanbyou/>

2. 患者家族交流会、ピアサポート、セルフマネジメント

患者家族の交流会やピアサポートに関する研修会、患者自身が自分の病気を自分で管理するためのセルフマネジメントの研修会等を行います。

3. ヘルパー研修、ボランティア育成研修

ヘルパーやボランティア育成のための研修会を開催します。

4. 保健・医療・福祉情報の収集と発信

保健・医療・福祉の情報を収集し、ホームページやセンターニュース等で情報提供を行います。

難病の診断・専門治療を行う「拠点病院」と在宅療養時の家庭医機能を担う「協力病院」を登録し、情報提供を行います。

5. その他

難病・相談支援センターをリハビリテーションセンター内に開設したことにより、リハビリテーションセンターの機能も十分に活用し、日常生活動作等の相談支援や、福祉用具、住宅改修に関する相談等を行います。

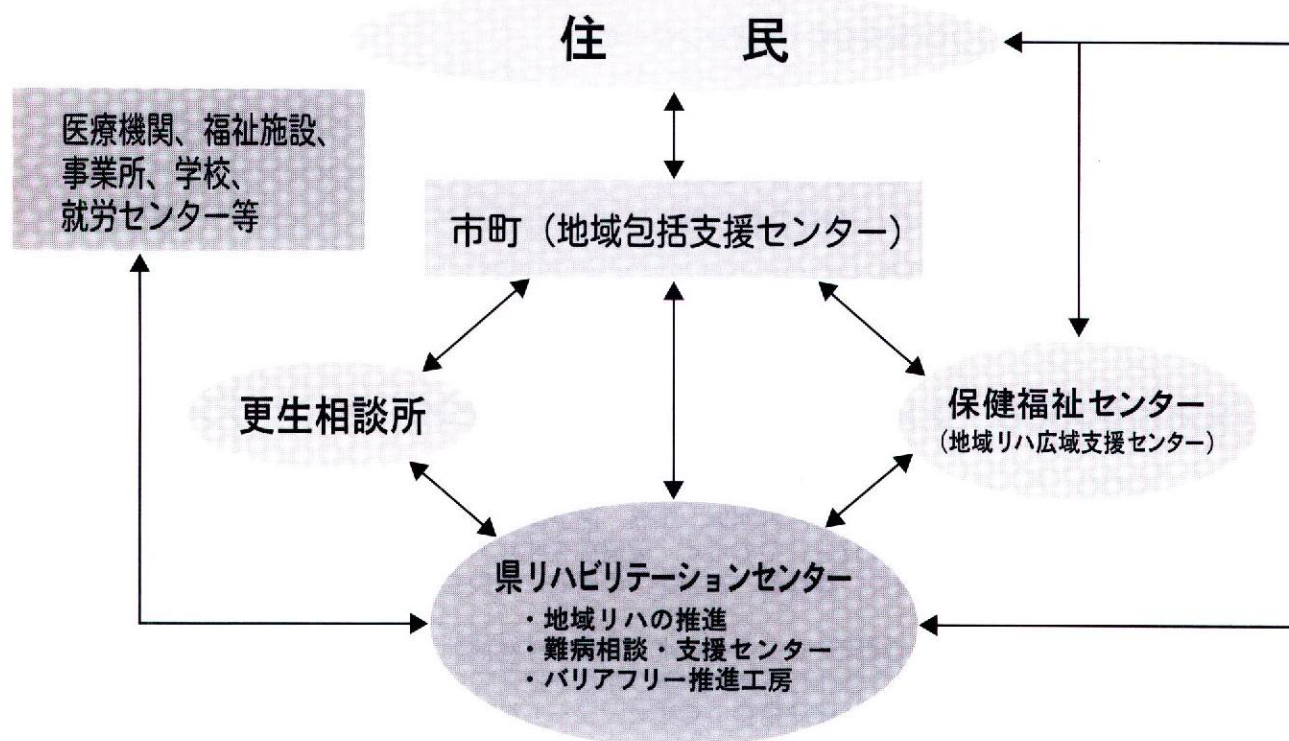
以上が具体的な活動内容ですが、難病として研究対象になっていない病気の方々に対しても、広く相談に応じ支援を行っていく予定ですので是非ご活用下さい。



地域活動支援

リハビリテーションセンターでは、障害のある方々の自立と社会参加を推進するために、理学療法士、作業療法士、リハビリテーション工学技師、ソーシャルワーカー、保健師などの専門スタッフが、地域での相談、生活・就労支援を行っています。今年5月にはセンター内に難病相談・支援センターを設置し、機能の充実を図りました。

リハビリテーションについてのいろいろな相談は、原則として予約制となっています。下記に示す機関連携を行い、県民の方々が利用しやすいセンターを目指していきます。まずは電話でご相談ください。



主な支援内容

【個別相談】

1. 障害のある方や高齢者に対するリハビリテーションに関する相談・支援
2. 福祉用具、住宅改修に関する相談・支援

【事業支援】

3. 市町が実施する介護予防事業（運動器の機能向上、認知症予防等）、腰痛予防などに対する講師派遣などの協力
4. 保健福祉センターが実施する研修などへの協力
5. 障害者施設・学校等への支援

【その他啓発等】

6. バリアフリー体験住宅「ほっとあんしんの家」や住宅移動展示車「ほっとあんしん号」を利用したバリアフリーに関する啓発
7. バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する相談
8. その他リハビリテーションに関する相談

平成18年度 研修会のご案内

1 地域リハビリテーション研修会 リハビリテーション関係機関の連携を推進するための研修会です。

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
6月7日(木) 14:00~16:00	リハビリテーションマネジメントの考え方と実践の仕方 講師：斉藤 正身（霞ヶ関南病院長）	県リハセンター	リハビリテーションマネジメントに関係する職員
12月17日(日) 14:00~16:00	地域完結型の脳卒中診療態勢 ～医療連携と地域連携クリティカルパス～ 講師：橋本洋一郎（熊本市立熊本市民病院神経内科部長）	県リハセンター	保健・医療・福祉に従事する専門職 等
平成19年 2月18日(日) 13:30~16:00	地域につなげるソフトランディング ～病院から自宅へ～ 講師：調整中	県リハセンター	急性期・回復期・維持期リハビリテーションに従事する専門職

2 専門職研修会 リハビリテーション専門職の知識の習得や技術の向上をめざすための研修会です。

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月26日(土) 14:00~16:00	運動器の機能向上を目的としたリハビリテーション ～筋力向上トレーニングの効果的な実践に向けて～ 講師：大淵 修一（東京都老人総合研究所介護予防緊急対策室長）	県リハセンター	理学療法士、作業療法士
10月14日(土) 14:00~16:00	スイス バレント病院における ADL Oriented Therapy の紹介 講師：長谷川田香（スイス バレント病院 作業療法士）	県リハセンター	作業療法士、理学療法士 等

3 リハビリテーション研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月3日(月) 14:00~16:00	運動器の機能向上への取り組み方 講師：水上 直彦（特別養護老人ホーム こすもす 理学療法士） 共催：能登北部保健福祉センター	奥能登行政センター 〔能登空港〕 41会議室	介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所介護、通所リハビリテーション、市町地域包括支援センター職員 等
7月10日(月) 14:00~16:00	運動器の機能向上への取り組み方 講師：宮本 岳史（やわたメディカルセンター 理学療法士） 共催：南加賀保健福祉センター	南加賀保健福祉センター 大会議室	
7月20日(木) 14:00~16:00	運動器の機能向上への取り組み方 講師：丸田 和夫（まるた老年リハビリ研究所 理学療法士） 共催：石川中央保健福祉センター	県リハセンター	
7月28日(金) 14:00~16:00	運動器の機能向上への取り組み方 講師：北谷 正浩（公立羽咋病院 理学療法士） 共催：能登中部保健福祉センター	能登中部保健福祉センター 大会議室	
日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
9月13日(木) 14:00~16:00	メタボリックシンドロームを学ぼう 講師：大平 雅美（信州大学医学部保健学科 理学療法士） 共催：能登中部保健福祉センター	能登中部保健福祉センター 大会議室	保健師、健康運動指導士、市町職員(老人保健担当者)、健康増進に関与する職員 等
9月14日(金) 14:00~16:00	メタボリックシンドロームを学ぼう 講師：大平 雅美（信州大学医学部保健学科 理学療法士）	県リハセンター	

4 リハビリ技術研修会 機能訓練指導員の知識の習得や技術の向上をめざすための研修会です。

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
1日目 8月1日(火) 9:00~12:00	総論（リハビリテーション、身体の見方、運動の基本 等） 個別評価の仕方、計画の立て方 講師：卜部 弘子（老人保健施設 和光苑 作業療法士）	県リハセンター	介護老人福祉施設、通所介護施設、特定施設入居生活介護施設に勤務する機能訓練指導員
13:00~16:00	基本動作の見方（起き上がり、移乗、歩行 等） 講師：正司 佳久（老人保健施設 サンビューかなざわ 理学療法士） 介護方法（腰痛予防） 講師：荒木 茂（石川県リハビリテーションセンター 理学療法士）		
2日目 8月2日(水) 9:00~12:00	ADLの見方（評価）と福祉用具の選定の仕方 講師：藤田 隆司（老人保健施設 アイリス 作業療法士）		
13:00~15:30	趣味・楽しみや役割に対する支援方法と実施例の紹介 講師：西谷すずな（特別養護老人ホーム ふいらーじゅ 作業療法士）		
15:30~16:00	情報交換会		

5 福祉用具基礎研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
10月16日(月)	福祉用具と起居・移乗について ①起居・移乗動作の基本 ②福祉用具と起居・移乗 講師：センター職員 共催：各保健福祉センター *同研修4回開催	県リハセンター	保健・福祉機関職員 等
10月19日(木)		県リハセンター	
10月23日(月)		南加賀保健福祉センター	
10月27日(金)		能登中部保健福祉センター	
9月7日(木)	コミュニケーション関連用具について ①コミュニケーション支援の重要性と機器導入のポイント ②コミュニケーション関連用具の紹介 講師：センター職員 共催：石川県難病支援センター	県リハセンター	保健・福祉機関職員 等

6 福祉用具活用研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
9月16日(出)	コミュニケーション支援と福祉用具 ①コミュニケーション支援の考え方と使い方 講師：田中勇次郎（東京都立多摩療育園） ②リハセンターのコミュニケーション関連用具の紹介 講師：センター職員	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 等
3月3日(出) 3月4日(回)	車いす調整実技研修 ①車いすの調整の仕方 ②リハセンターの車いすの紹介 講師：センター職員	県リハセンター	理学療法士、作業療法士

7 福祉用具供給研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
10月12日(休) 10月13日(金)	福祉用具選定に必要な知識 ①福祉用具選定に必要な知識 ②ベッド・車いすの適合の考え方 講師：センター職員	県リハセンター	福祉用具相談員、補装具指定業者 等
未 定	介護保険と福祉用具の現状 ①介護保険と福祉用具レンタルの現状 講師：未定	県リハセンター	

8 住宅改修研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
10月29日(回)	①住宅改修支援調査報告 講師：センター職員 ②住宅改修におけるセラピストの役割と課題 講師：船谷 俊彰（松下電工エイジフリーショップス株式会社）	県リハセンター	理学療法士、作業療法士 等

9 テクニカルエイド普及事業

教育分野

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月18日(金) 13:00~16:30	テクニカルエイドの実際 ①子供の可能性を見出す道具の活用と環境の工夫 講師：光野 有次（株式会社 無限大工房） ②バリアフリー推進工場の取り組みの紹介 講師：センター職員 共催：県教育委員会	県立総合養護学校	教職員・保護者 等

就労分野

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
7月22日(出) 13:30~16:30	障害のある人の自動車運転 ①身体障害とモーターライフ 講師：松井 典子（長野県身体障害者リハビリテーションセンター） 講師：土嶋 政宏（名古屋市総合リハビリテーションセンター） 共催：金沢大学医学部保健学科	金沢大学医学部保健学科	理学療法士、作業療法士、福祉施設職員、介護支援専門員

石川県難病相談・支援センター

1 ピアサポート（ピアカウンセリング）研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
8月12日(出) 10:00~16:00 8月13日(回) 10:00~16:00	講師：宗像 利幸 他2名（JHC板橋会サン・マリーナ 施設長）	県リハセンター	40名程度

2 セルフマネジメント研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
9月23日(出) 14:00~16:00	自分らしく病気と付き合おう 講師：日本慢性疾患セルフマネジメント協会	県リハセンター	100名程度

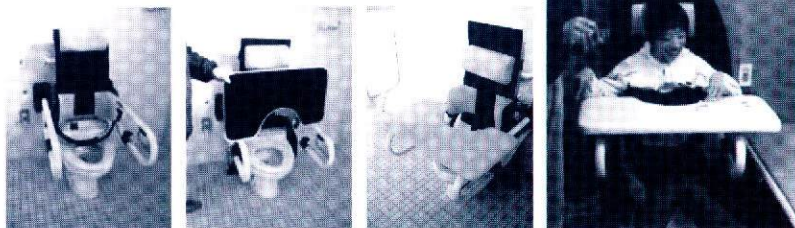
3 パソコン研修会

日 時	内容および講師	会 場	対 象 者
隔週水曜日 10:00~12:00	難病の方や身体に障害のある方のパソコン教室を開催 講師：パソコンボランティアの方	県リハセンター	要予約・無料

バリアフリー推進工房の活動

■ トイレ用座位保持装置の開発

座位姿勢が不安定な人にとっても、便器に座って排泄を行うことは大切なことです。洋式便器での排便姿勢は前傾姿勢が一般的で、前屈したほうが重心が前方に移り、①腹圧をかけやすく力みやすい、②臀部にかかる圧が軽減して褥瘡が予防できる、③肛門が開きやすくなるといった利点があるからです。



このような背景から、最適な姿勢で排泄ができ、かつ簡単に装着できる便器用の座位保持装置を開発し、この4月に開設した県立総合養護学校のトイレに採用されました。このことにより、座位姿勢が不安定な子どもたちでも便器にしっかり座ることができ、さらにテーブルの上に洗浄リモコンを置くことで、自分で後始末ができる子どもたちが増えました。

この座位保持装置は、施設や自宅の便器にも取り付けられますので、技術相談や試用を希望される方は、バリアフリー推進工房まで問い合わせください。

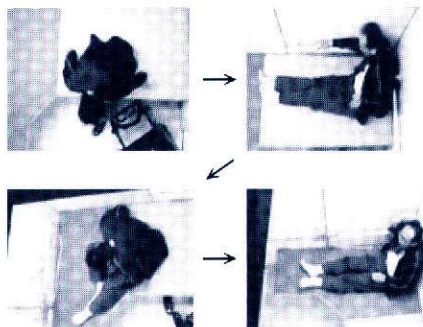
■ 白山ろくにバリアフリー対応キャンプ場が完成！

白山ろくテーマパーク内にキャンプ場（白山吉野オートキャンプ場）が完成しました。建設にあたり、バリアフリー推進工房では、各種障害のある方々とともに「水まわり環境UD研究会」を発足させ、プランの検討や原寸モデルでの検証を重ね、より多くの方が利用しやすいトイレ、更衣・シャワー、炊事環境等を実現しました。

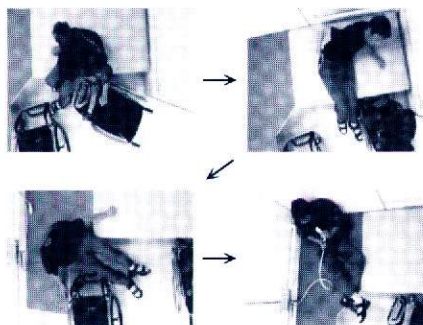
キャンプ場のオープンは7月17日の予定ですので、是非ご利用ください。

原寸モデルでの検証場面

- 長座位タイプの方の更衣・シャワー動作

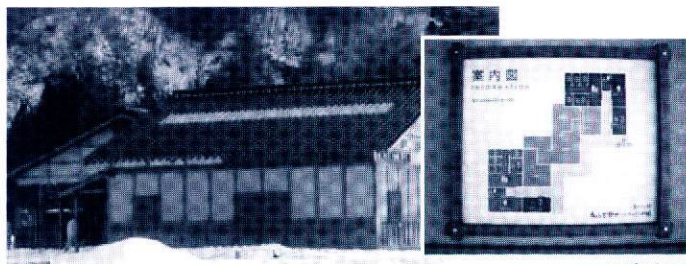


- 端座位タイプの方の更衣・シャワー動作



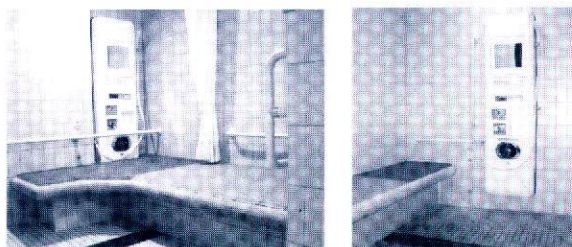
(所在地)
白山ろくテーマパーク公園センター
〒920-2113 白山市河内町吉岡89
TEL：0761-92-3637

完成した白山ろくキャンプ場

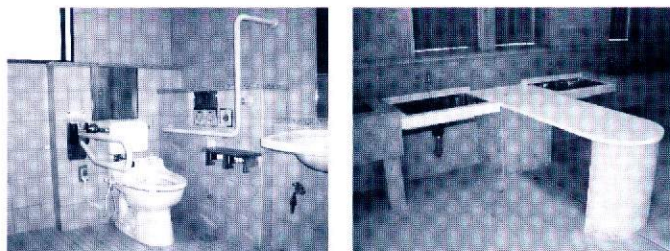


▲ 管理事務所

▲ 案内図



▲ シャワー・更衣室



▲ 便所

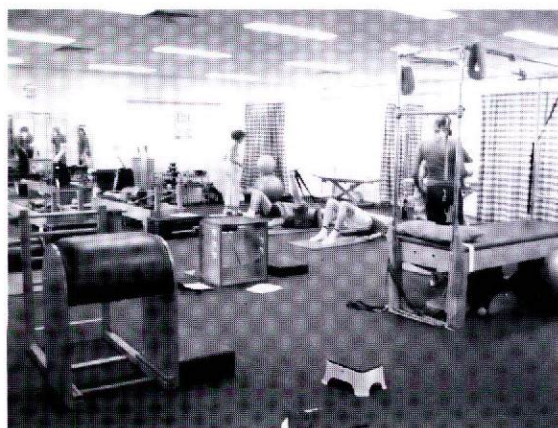
▲ 炊事場

オーストラリアの外来リハビリテーション

指導課 荒木 茂

平成18年1月3日から10日までオーストラリア ブリスベンにある Mater Hospital へ「失禁に対する理学療法」のコースを受講しに行ってきました。オーストラリアの医療保険制度は公的保険と民間の保険との2本立てだそうで、公的保険は公立病院での治療しか受けられませんが、民間の保険では私立病院の治療をカバーしています。民間の保険に入れば患者さんは自分の好きな病院を選ぶことができます。

オーストラリアの理学療法士は開業して自分のクリニックを持つことができ、民間の保険が適応になるそうです。オーストラリアは電話帳を見ると弁護士事務所の数より理学療法士のクリニックが多いそうで、医師の紹介で患者さんは近くの理学療法クリニックで治療を受けることができます。もちろん訪問リハビリの会社もあります。ある開業クリニックを見学しましたがフィットネスジムのようなところでした。病院のリハビリ室に匹敵する設備があり、患者さんはわざわざ病院へ通う必要はありません。今、日本で介護保険で言うところの通所リハビリや介護予防などはオーストラリアでは理学療法の開業クリニックで十分対応できています。また、自立支援法で言う通所リハビリなどはわざわざ制度を作らなくても医師の紹介で病院のリハビリと同じまたはそれ以上のサービスを受けることができます。しかも、患者さんは自分の好きなクリニックを選ぶことができます。介護認定やケアマネージャーの審査などは必要ありません。医療保険にしても介護保険にしてもリハビリを受けるのはお金がかかることは同じです。介護予防や、自立支援法のために市町は多大なエネルギーとお金を費やさねばならないでしょう。確かに民間の保険に入る負担がありますがどちらが患者さんのためになるでしょうか。オーストラリアの人は年収300万円ほどあれば生活できるので、自分や家族の生活を犠牲にしてまでお金のために働こうという人は少ないそうです。休日はビーチハウスで家族とのんびり過ごす。何にもしないのが休日だそうで、奥さんは家事もお休み。休日は本当に休息のための日（当たり前なんですが）。日本ではどうでしょう。毎日仕事に追われて、休日はレジャーのために一生懸命走り回る。連休なんかは民族大移動のようにどこも混雑。仕事以上に疲れて、休日は休息ではなく急ぎだなんて……。私もブリスベン近郊のサンシャインコーストのビーチハウスに招待してもらいました。いわゆるオーストラリア風の休日を体験させて頂きましたが、ぼーとしている事になれていないせいか時間もったいなくってしょうがない。退屈。なんかしてないとかえって落ち着かない。やっぱり日本人にはオーストラリア風の休日はむかないのかもしれない。



ブリスベンの外来リハビリクリニック

編集・発行 石川県リハビリテーションセンター
〒920-0353 金沢市赤土町-13-1
TEL (076) 266-2866 FAX (076) 266-2864
E-mail iprc@pref.ishikawa.jp
<http://www.pref.ishikawa.jp/kousei/rihabiri>
